

第 1 1 回兵庫県就学前教育・保育研修大会

プ ロ グ ラ ム

1 開 会（13：00～13：20）

開会あいさつ

来賓・主催者紹介

ひょうご乳幼児教育・保育マイスター認証式

2 基 調 講 演（13：20～14：50）

「誕生からの育ちと学び～子どもの尊厳を考える～」

井桁 容子（いげた ようこ）氏 保育 SoW（Sense of Wonder）ラボ代表

3 幼保情報交換会（15：00～17：00）

～園長及び教職員参加者全員によるワークショップ～

北野 幸子（きたの さちこ）氏 神戸大学大学院 教授

4 閉 会（17：00～17：05）

閉会あいさつ

講師紹介

令和8年9月5日(土)

1 講義目	誕生からの育ちと学び～子どもの尊厳を考える～	保育SoW (Sense of Wonder) ラボ 代表 井桁 容子氏
1976年4月から2018年3月まで保育実践研究施設の東京家政大学ナースリールームに42年間勤務し、東京家政大学非常勤講師も務め、保育の実践及び保育者養成に関わりながら研究に従事。 2018年4月よりフリーとなり乳幼児教育実践研究家として、任意団体「保育SoW (Sense of wonder) ラボ」代表・「非営利団体コドモノミカタ」代表理事、「保育の根っこを考える会」主宰などを務める。 2024年5月より日本保育学会評議員。 保育実践の場から抽出した子どもの本質、質の高い保育の在り方について数多くの実践研究や講演、保育・子育て関係著書多数を執筆。また保育コンサルティング、ワークショップ、メディアにおいては、NHKEテレ「すくすく子育て」、子ども向け番組の監修、そのほか保育DVD制作、子どもと大人向け音楽CDプロデュースするなど、日本の子どもが置かれる環境の質の底上げのために幅広く活動中。 2020年11月に育児雑誌編集長が選ぶ『第13回ペアレンティングアワード』の文化人部門を受賞 <単著> 「ていねいなまなざしでおもしろい！不思議！すごい！がみえる乳幼児保育」2024年10月 「伸びやかな育ちを支える～0 1 2 歳児保育の現場から～」NP0ブックスタート2024年 「子ども主体で考えるかみつき・ひっかき」学研教育みらい 2022年 6 月 「未来をひらく家庭支援・保護者との関わり」メイト 2021年12月 他多数 <監修> 「トイレ上手な子どもになれる本」辰巳出版 2015年2月 他多数 <連載> 全国私立保育園連盟 「保育通信」―子どもと親の今―連載中 フレーベル館 「保育ナビ」連載中 学研「012歳の保育」連載中 他、w e b 上の子育て関係の連載あり		
2 講義目	幼保情報交換会・園長及び教職員参加者全員によるワークショップ	神戸大学大学院 教授 北野 幸子氏
神戸大学教育学部卒業、広島大学教育学研究科博士課程修了、広島国際大学、福岡教育大学教育学部准教授を経て現職。日本保育学会理事、日本乳幼児教育学会理事を歴任。 2024年から環太平洋乳幼児教育学会（Pacific Early Childhood Education Research Association）会長を務める。 PECERAは、アジア諸国を中心に環太平洋地域における幼児教育研究を発展・サポートしあう学会として2000年に設立。年に一度、各国がホストとなり研究大会を開催。主に、オーストラリア、中国、香港、日本、韓国、ニュージーランド、シンガポール、台湾、アメリカ合衆国、などの諸国から幼児教育研究者が参加し、毎年各国の研究課題について熱い議論や討議を行っている。 主な著書 『認定こども園の時代』（ひかりのくに） 『地域発・実践現場から考えるこれからの保育 ―質の維持・向上を目指して』（わかば社） 『子どもと保育者でつくる育ちの記録―あそびの中の育ちを可視化する』（日本標準） 『Revisiting Paulo Freire's Pedagogy of the Oppressed. Issues and Challenges in Early Childhood Education』（Routledge） など多数。		